

2021年11月24日  
住友生命保険相互会社

## Vitality 会員によるアクティブチャレンジを活用した寄付について ～開始3か月で寄付回数10万回、総額1700万円以上を寄付～

住友生命保険相互会社（取締役 代表執行役社長 高田 幸徳、以下「住友生命」）は、健康増進型保険“住友生命「Vitality」”の加入者（以下「Vitality 会員」）の日々の健康増進活動への取組みを通じて、がん予防やがん検診の推進等、がん征圧活動に取り組む公益財団法人日本対がん協会（会長 垣添 忠生、以下「日本対がん協会」）への寄付を6月22日から開始しています。

開始から9月30日までの約3か月間で、Vitality 会員に10万回を超える寄付をいただきました。寄付金総額は17,350,580円となり、多くのVitality 会員にとって社会貢献が自身の健康増進へのモチベーションにつながっています。

### < “住友生命「Vitality」”を通じた日本対がん協会への寄付について >

- ・寄付は、Vitality 健康プログラムの1つであるアクティブチャレンジを通じて行います。
- ・アクティブチャレンジとは、1週間のサイクルで設定される運動ポイント目標を達成することで、コーヒーやドリンク等の各種商品チケットを獲得できる特典です。
- ・獲得したチケットを使用する代わりに、日本対がん協会への寄付を選択することでチケットと同額（100円～500円）の寄付が行われます。



※ アクティブチャレンジを活用した日本対がん協会への寄付の概要および寄付金の使途については、“住友生命「Vitality」”スペシャルサイトの専用ページをご確認ください。

[https://vitality.sumitomolife.co.jp/life/reward/reward\\_news\\_donation/](https://vitality.sumitomolife.co.jp/life/reward/reward_news_donation/)

現在、住友生命は健康増進の理念に共感いただいた国内 17 社のパートナー企業と提携し、“住友生命「Vitality」”を中心に「一人ひとりのよりよく生きる＝ウェルビーイング」の実現を目指しています。身体的な健康だけでなく、精神的な健康、さらにはよりよい人間関係づくりを支える社会的な健康にまでその領域を拡げていきたいと考えています。

“住友生命「Vitality」”を通じて寄付を行うことで、Vitality 会員の健康増進活動促進のみならず、世の中のがん予防啓発などの社会貢献に繋がり、健康長寿社会の実現に貢献できると考えています。住友生命では、「なくてはならない」生命保険会社の実現を目指し、事業活動を通じて持続可能な開発目標「SDGs」の達成に向けた取組みを進めていきます。

#### ■日本対がん協会の概要

団 体 名       : 公益財団法人日本対がん協会  
設       立       : 1958 年 8 月  
事 業 内 容     : がんの予防と検診の推進、がんに関する正しい知識の普及啓発なら  
                  びに情報発信、がん征圧と患者支援に資する事業  
協会所在地     : 東京都中央区銀座 7-16-12 G-7 ビルディング 9 階  
代 表 者       : 会長 垣添 忠生  
検診受診者数   : 日本対がん協会発足以来の受診者はのべ 3 億 9000 万人以上

以上